

2024年8月9日

各位

会社名 富士石油株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 山本重人  
 (コード番号：5017 東証プライム市場)  
 問合せ先 総務部部長 鈴木龍司  
 TEL：03 - 5462 - 7803  
 URL：https://www.foc.co.jp/

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年5月10日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1) 第2四半期累計期間 連結業績予想 (2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2024年5月10日発表)	430,200	4,400	3,900	2,700	34.99
今回修正予想 (B)	431,300	2,900	3,200	100	1.30
増減額 (B-A)	1,100	△1,500	△700	△2,600	
増減率 (%)	0.3	△34.1	△17.9	△96.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	319,711	12,250	13,566	11,209	145.27

##### (2) 2025年3月期通期 連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2024年5月10日発表)	829,900	9,400	8,400	7,000	90.72
今回修正予想 (B)	832,400	7,900	7,700	4,400	57.02
増減額 (B-A)	2,500	△1,500	△700	△2,600	
増減率 (%)	0.3	△16.0	△8.3	△37.1	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	723,730	16,199	18,735	15,516	201.09

## 2. 修正の理由

前回予想（2024年5月10日発表）以降の業績の動向等を勘案し、第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたします。

今回の修正見通しの前提として、第2四半期以降のドバイ原油価格は80ドル/バレル（前回予想同80ドル/バレル）、同じく為替レートは150円/ドル（前回予想同150円/ドル）といたしました。

売上高は、第2四半期連結累計期間につきましては、7月下旬の落雷による装置の一時的な停止及び生産計画の見直し等により、販売数量は減少を見込むものの、第1四半期において原油価格が堅調に推移したこと等による販売価格の上振れにより、前回予想比11億円増収の4,313億円となる見通しです。通期につきましては同25億円増収の8,324億円となる見通しです。

損益につきましては、前回予想において発生を見込んでいた在庫影響による原価押し上げ要因が、原価押し下げ要因に転じることが見込まれるものの、前述の落雷による装置の一時的な停止及び生産計画の見直し等により、第2四半期連結累計期間につきましては営業利益29億円（前回予想比15億円減益）、経常利益32億円（同7億円減益）となる見通しです。なお、当社が間接保有する連結子会社東京石油興業株式会社の全株式を7月1日付で譲渡しました。当該株式の譲渡に伴い、第2四半期連結累計期間において、約11億円の特別損失を計上する見込みであること等により、第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は1億円（同26億円減益）となる見通しです。通期につきましては、営業利益79億円（前回予想比15億円減益）、経常利益77億円（同7億円減益）、親会社株主に帰属する当期純利益44億円（同26億円減益）となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は、第2四半期連結累計期間につきましては営業利益相当額で11億円（前回予想比35億円減益）、経常利益相当額で14億円（同27億円減益）、通期につきましては営業利益相当額で68億円（前回予想比28億円減益）、経常利益相当額で66億円（同20億円減益）となる見通しです。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上